

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略
進捗管理資料(平成29年度版)

もくじ

重点戦略.....	1
基本目標.....	7
基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育てを応援する.....	8
I 目標指標.....	8
II 各方針の状況.....	8
【施策1】津島市で子育てしたくなる環境づくり.....	8
【施策2】子どもが健やかに成長できる環境づくり.....	10
基本目標2 津島市に住み続けながら働けるようにする.....	11
I 目標指標.....	11
II 各方針の状況.....	11
【施策1】多様で安定した職場の開拓.....	11
【施策2】利便性の高い居住環境の整備.....	13
【施策3】企業と若者との接点の強化.....	15
基本目標3 人の交流・活動を活発にし、都市イメージを改善する.....	16
I 目標指標.....	16
II 各方針の状況.....	16
【施策1】若い人の活躍機会の拡充と発信.....	16
【施策2】歴史・文化を活かしたまちづくり.....	17
【施策3】シティプロモーションの展開.....	19
基本目標4 時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る.....	21
I 目標指標.....	21
II 各方針の状況.....	21
【施策1】防災・減災対策の充実.....	21
【施策2】健康寿命の延伸.....	23
【施策3】自治活動・市民活動の活性化.....	25
地方創生推進交付金等活用事業について(平成29年度採択分).....	26
01 伝統の食と農でつなぐ人と地域にやさしいまちづくり.....	26
02 寺院と町家を活用した滞在型観光による地域再生プロジェクト.....	26
03 みんなで支えあうコミュニティリノベーション事業.....	27
04 みんなで発見・発信・おもてなし！津島“にぎわい”創出プロジェクト.....	27
05 天王信仰の総本社「津島神社」への参道を核とした門前町再生事業.....	27

重点戰略

重点戦略1 20～30歳代の女性の転出を抑制する

目標

結婚による世帯形成や持ち家取得時の居住場所として、津島市を選んでもらうことにより女性の減少を抑制し、子どもの増加をめざす

I ターゲット

- i) 県内の人と結婚予定の女性
- ii) 市内の借家に住んでいる子育て世帯
- iii) キャリアアップ志向のある女性

II 関連する基本目標

- 基本目標1** 若い世代の結婚・出産・子育てを応援する
 - i) 津島市で子育てしたくなる環境づくり
 - ii) 子どもが健やかに成長できる環境づくり
- 基本目標2** 津島市に住み続けながら働けるようにする
 - i) 多様で安定した職場の開拓
 - ii) 利便性の高い居住環境の整備
 - iii) 企業と若者との接点の強化
- 基本目標3** 人の交流・活動を活発にし、都市のイメージを改善する
 - i) 若い人の活躍機会の拡充と発信
 - ii) 歴史・文化を活かしたまちづくり
 - iii) シティプロモーションの展開
- 基本目標4** 時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る
 - i) 防災・減災対策の充実
 - ii) 健康寿命の延伸
 - iii) 自治活動・市民活動の活性化

目標 市外に働きに出ても、津島市内に住み続けることを希望する若者を増やす

I ターゲット

- i) 名古屋市及び周辺に就職する若者
- ii) 就職先を探している若者
- iii) 就職で市外に出た若者

II 関連する基本目標

- 基本目標1** 若い世代の結婚・出産・子育てを応援する
- i) 津島市で子育てしたくなる環境づくり
 - ii) 子どもが健やかに成長できる環境づくり
- 基本目標2** 津島市に住み続けながら働けるようにする
- i) 多様で安定した職場の開拓
 - ii) 利便性の高い居住環境の整備
 - iii) 企業と若者との接点の強化
- 基本目標3** 人の交流・活動を活発にし、都市のイメージを改善する
- i) 若い人の活躍機会の拡充と発信
 - ii) 歴史・文化を活かしたまちづくり
 - iii) シティプロモーションの展開
- 基本目標4** 時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る
- i) 防災・減災対策の充実
 - ii) 健康寿命の延伸
 - iii) 自治活動・市民活動の活性化

重点戦略3 名古屋市への通勤者の転入を増やす

目標

名古屋駅周辺の就業者の拡大を見込んで、名古屋市への通勤者の転入者を増やす

I ターゲット

- i) 名古屋駅周辺の職場への通勤者
- ii) 名古屋駅周辺の職場に通勤する共働き世帯
- iii) 名古屋駅周辺の職場で働いて持ち家取得を希望する世帯

II 関連する基本目標

- 基本目標1** 若い世代の結婚・出産・子育てを応援する
 - i) 津島市で子育てしたくなる環境づくり
 - ii) 子どもが健やかに成長できる環境づくり
- 基本目標2** 津島市に住み続けながら働けるようにする
 - i) 多様で安定した職場の開拓
 - ii) 利便性の高い居住環境の整備
 - iii) 企業と若者との接点の強化
- 基本目標3** 人の交流・活動を活発にし、都市のイメージを改善する
 - i) 若い人の活躍機会の拡充と発信
 - ii) 歴史・文化を活かしたまちづくり
 - iii) シティプロモーションの展開
- 基本目標4** 時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る
 - i) 防災・減災対策の充実
 - ii) 健康寿命の延伸
 - iii) 自治活動・市民活動の活性化

重点戦略4 元気で魅力的な都市イメージを形成する

目標

津島市の都市イメージを高め、若い人の定住を促すとともに、安定した交流人口の拡大を図り、雇用機会とそこで働く若い人を増やす

I ターゲット

市内、市外の住民

II 関連する基本目標

- 基本目標1** 若い世代の結婚・出産・子育てを応援する
- i)津島市で子育てしたくなる環境づくり
 - ii)子どもが健やかに成長できる環境づくり
- 基本目標2** 津島市に住み続けながら働けるようにする
- i)多様で安定した職場の開拓
 - ii)利便性の高い居住環境の整備
 - iii)企業と若者との接点の強化
- 基本目標3** 人の交流・活動を活発にし、都市のイメージを改善する
- i)若い人の活躍機会の拡充と発信
 - ii)歴史・文化を活かしたまちづくり
 - iii)シティプロモーションの展開
- 基本目標4** 時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る
- i)防災・減災対策の充実
 - ii)健康寿命の延伸
 - iii)自治活動・市民活動の活性化

重点戦略と施策体系との関係

施策の基本目標・施策	重点戦略	20～30歳代の女性の 転出を抑制する	就職期の若者の転出を 抑制する	名古屋市への通勤者の 転入を増やす	元気で魅力的な 都市イメージを形成する

若い世代の結婚・出産・子育てを応援する	津島市で子育てしたくなる環境づくり	◎		◎	○
	子どもが健やかに成長できる環境づくり	◎		◎	○

津島市に住み続けながら働けるようにする	多様で安定した職場の開拓	○	◎		
	利便性の高い居住環境の整備	◎	○	◎	
	企業と若者との接点の強化	○	◎		

人の交流・活動を活発にし、都市のイメージを改善する	若い人の活躍機会の拡充と発信	◎	◎	○	◎
	歴史・文化を活かしたまちづくり		○	○	◎
	シティプロモーションの展開	◎	◎	◎	◎

時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る	防災・減災対策の充実			○	
	健康寿命の延伸			○	
	自治活動・市民活動の活性化			○	○

◎：戦略を達成するために行う事業

○：直接的ではないものの、事業を行うことで間接的に寄与する事業

基本目標

基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育てを応援する

若い女性の転出を抑制し、子育て世代の定住を促進し、女性と子どもの数の減少を抑制する。

I 目標指標

基本目標に掲げる指標は下記のとおりです。

指標名	目標値(平成31年度)	基準値(平成27年度)
子育てしやすいまちだと思う人の割合(%)	60.0	56.0
年間の出生数(H27～31年度の平均)(人)	519	402

II 各方針の状況

【施策1】津島市で子育てしたくなる環境づくり

i) 施策の方針

妊娠・出産の支援
出産後の子育ての不安の解消



妊婦や産後の健康管理、不妊治療の支援等
相談、親子の交流機会の充実

希望の子ども数が産める環境づくり



経済的負担を軽減する各種支援制度の充実

子育てしながら充実した生活を送ること
ができる環境の実現



親の社会的な活動への参加と子育てを両立できる
環境づくり

この関連施策として、子育て家庭を増やして事業効果を高めるため、関係機関が実施する婚活事業の支援を実施します。

ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成28年度の実績値の割合、前年度比については、前年度(平成27年度)の数値と比較したものです。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	達成度	前年度比
子育て支援センター利用者 延人数(人)	目標値	17,500		21,000	23,500	133.6%	
	基準値	16,508					
ファミリー・サポート・センター 利用者延数(人)	目標値	1,500		1,000	1,150	80.9%	
	基準値	1,052					
不妊治療費助成対象者数 (人)	目標値	15		15	15	133.3%	
	基準値	11					
病児・病後児保育の利用者 数(人)	目標値	70		70	70	132.9%	
	基準値	53					
			計画	実績			
				20,276	23,376		
				879	1,214		
				13	20		
				19	93		

iii) 主要な施策の状況

ア 子育て支援センターの機能強化

		方針	拡大	番号	1102
事業名	地域子育て支援拠点事業	担当部	健康福祉部		
		担当課	子育て支援課		
事業概要		乳幼児の親同士の交流や子育てに関する情報の提供を行い、地域の方々との助け合いによる子育て支援を行う。			
H28	実績	子育て世代包括支援センター事業開始、子育てアプリ配信準備、西地区子育て支援センター土日開所			
	評価	西地区の土日開所の影響で利用者数が大幅に増えた。子育て支援センターの民間委託を検討したが、サービスの低下につながる事が判明した。			
H29 取組		支援センターの委託化に向けて、関係機関と検討を重ねていく。			

イ ファミリー・サポート・センター事業

		方針	継続	番号	1104
事業名	ファミリー・サポート・センター事業	担当部	健康福祉部		
		担当課	子育て支援課		
事業概要		子育ての手助けをして欲しい依頼会員と子育てをお手伝いしたい提供会員が互いに助け合いながら子育て支援を行う。			
H28	実績	未就園児の預かり、園児の登降園、小学校の登下校、習い事、産前産後の家事、病児・病後児の預かり等に係る援助			
	評価	新規に始めた病児・病後児の預かり利用はほぼ無かったが、登下校の援助、帰宅後の預かりが急増した。			
H29 取組		未就園児の預かり、園児の登降園、小学校の登下校、習い事、産前産後の家事、病児・病後児の預かり等に係る援助等の事業のPRの拡大を図り、さらなる利用者増を目指す。			

ウ 不妊治療費助成

		方針	拡大	番号	1109
事業名	不妊治療費助成事業	担当部	健康福祉部		
		担当課	健康推進課		
事業概要		不妊に悩む夫婦に対し、人工授精に要する費用の一部を助成することにより、その経済的な負担の軽減を図り、もって、少子化対策の充実を図る。			
H28	実績	ホームページ、広報への掲載、申請件数 20件			
	評価	ホームページや広報へ掲載し、助成の周知を行い申請件数が13件から20件と増加した。			
H29 取組		ホームページ、広報への掲載。より使いやすい制度とするために助成要件の見直しを行う。			

エ 多様な保育サービスの充実

		方針	継続	番号	1111
事業名	多様な保育サービスの充実	担当部	健康福祉部		
		担当課	子育て支援課		
事業概要		延長保育、一時的保育、休日保育、病児・病後児保育など、ニーズに応じた多様な保育サービスを提供します。			
H28	実績	延長保育、一時的保育、休日保育、病児・病後児保育を実施。			
	評価	病児・病後児保育の利用者は前年度より増加した。			
H29 取組		延長保育、一時的保育、休日保育、病児・病後児保育を実施。利用者数の増加のため、各事業のPRに努める。			

【施策2】子どもが健やかに成長できる環境づくり

i) 施策の方針

子どもの個性や意欲を育む	➔	特色のある教育の推進(外国語教育の充実、各界の第一人者との交流等)
子どもの健やかな成長を支える	➔	総合的な体力の向上(充実した学校給食の提供、体づくり等) 家庭・地域との連携・協力の強化(スポーツ、多世代の交流機会等)

ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成28年度の実績値の割合、前年度比については、前年度(平成27年度)の数値と比較したものです。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

		27年度末	28年度末	29年度末	達成度	前年度比
新体力テストにおける体力章 交付者の割合(%) ・目標値1 小学生 ・目標値2 中学生	目標値1	10.0			180%	
	基準値1	7.9	10.0	18.0		
	目標値2	14.0			74.2%	
	基準値2	11.7	14.0	14.0		
学校支援地域本部設置数 (箇所)	目標値	2	12	12	600%	
	基準値	1	12			

iii) 主要な施策

ア 総合的な子どもの体力強化

		方針	継続	番号	1204
事業名	総合的な子どもの体力強化		担当部	教育委員会	
			担当課	学校教育課	
事業概要	子どもの頃の基礎体力を充実し、生涯にわたって健康な身体を維持できるよう体力づくりプログラムを推進する。				
H28	実績	各小中学校独自のプログラムによる総合的な子どもの基礎体力向上大作戦の実施において、運動プログラム、縄跳びやストレッチなどを行った。			
	評価	各学校において、基礎体力向上の取組を進めた。全国体力調査の結果において、前年より値がよくなった項目もあり、基礎体力の向上に繋がっている。			
H29	取組	各小中学校において総合的な子どもの基礎体力向上大作戦の実施していく。			

イ 学校支援地域本部の推進

		方針	拡大	番号	1207
事業名	学校支援地域本部及びコミュニティ・スクールの推進		担当部	教育委員会	
			担当課	学校教育課	
事業概要	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を見守る体制を推進し、一緒になって学校運営に取り組む仕組みをつくる。				
H28	実績	12小中学校すべてにおいて学校支援地域本部を立ち上げた。 神守中・天王中で学習支援を実施した。			
	評価	当初の予定では、平成31年度までに2校において学校支援地域本部を立ち上げ、環境を整えることとしていたが、平成28年度中にそれを大幅に超える市内全小中学校(12校)において学校支援地域本部を立ち上げることができた。			
H29	取組	環境が整った学校から、学校支援地域本部からコミュニティ・スクールへ移行していく。			

基本目標2 津島市に住み続けながら働けるようにする

就職期に転出する若者を減らす。

I 目標指標

基本目標に掲げる指標は下記のとおりです。

目標指標名	目標値 ^(平成31年度)	基準値 ^(平成27年度)
社会増減数(人)	0	△340

II 各方針の状況

【施策1】 多様で安定した職場の開拓

i) 施策の方針

地域企業による安定した雇用機会の確保



・地域企業の新事業開拓の取組を支援し、
経営基盤の強化を支援
・新規企業の誘致の推進

起業の促進



伴走型のきめ細かい支援

ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成28年度の実績値の割合、前年度比については、前年度(平成27年度)の数値と比較したものです。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	達成度	前年度比
市内の特定創業支援を受けた創業者数(件)	目標値	20		5	5	30.0%	
	基準値	-					
企業誘致件数(件)	目標値	8		1	3	12.5%	
	基準値	-					
	計画						
	実績		0	6			
	計画						
	実績		0	1			

iii) 主要な施策

ア 地域における創業支援体制の構築

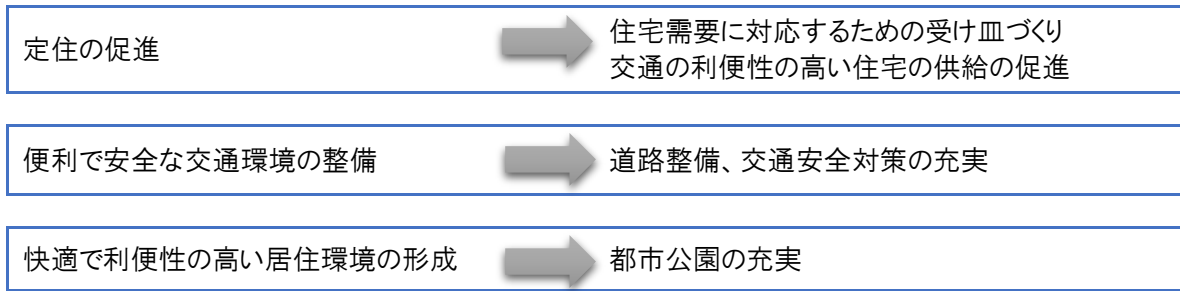
		方針	継続	番号	2105
事業名	創業支援事業	担当部	建設産業部		
		担当課	産業振興課		
事業概要		商工会議所が行う創業支援事業に要する経費を補助する。			
H28	実績	小商い講座を実施するとともに、商工会議所が行う創業セミナー、第二創業セミナーを支援した。			
	評価	3つの講座を実施したことで、受講者56人中、6人が創業した。			
H29 取組		商工会議所が行う創業セミナー、第二創業セミナーを支援する。引き続き商工会議所を支援し、創業者を支援するとともに、空き店舗情報を提供する			

イ 企業誘致の推進

		方針	継続	番号	2101
事業名	企業誘致の推進事業	担当部	建設産業部		
		担当課	産業振興課		
事業概要		市外企業の誘致及び転出抑制を狙った市内企業支援を行い、市内産業の活性化、雇用の創出を図る。			
H28	実績	助成金等の要綱を制定し運用開始。パンフレットを作成し、PRに活用した。			
	評価	26社/年に対応し9社と継続して誘致活動を行っている。また、1社が工事着工、1社が当市への進出を決定し法手続きに入る等、成果が出てきた。			
H29 取組		企業進出による雇用、税收効果が高いため継続実施する。			

【施策2】 利便性の高い居住環境の整備

i) 施策の方針



ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成28年度の実績値の割合、前年度比については、前年度(平成27年度)の数値と比較したものです。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	達成度	前年度比
空家等利活用件数(件)	目標値	20	計画	0	2	0.0%	
	基準値	-	実績	0	0		
地区計画箇所数(件)	目標値	2	計画	0	0	0.0%	
	基準値	-	実績	1	0		

iii) 主要な施策

ア 空家等既存ストックの有効活用

		方針	継続	番号	2203
事業名	空家対策事業	担当部	建設産業部		
		担当課	都市計画課		
事業概要	行政、地域共通の課題である空き家問題について、関係各課と連携し、実態の把握及び適正管理指導を行う。				
H28	実績	空家等対策計画策定			
	評価	計画策定により当市の空家総数(推計値)が把握でき、現状と課題が分析できた。今後、これら解決に向けた取組を実施していく。			
H29	取組	空家等対策協議会を設置し、空き家等への指導・勧告等を行う。			

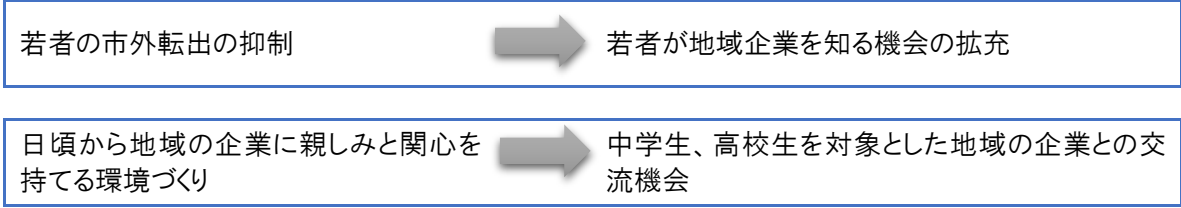
		方針	継続	番号	2106
事業名	商店街空き店舗対策(天王信仰の総本社「津島神社」への参道を核とした門前町再生事業)	担当部	建設産業部		
		担当課	産業振興課		
事業概要	天王通りのまちづくりを行うため、アイデアの募集、ワークショップでの検討等、具現化に向けた取組を行う。また、消費につながる仕組みを創出するため、出店者が活用する空き店舗マッチングシステムを構築、運用し、店舗で、体験プログラムを実施できるシステムを構築、運用することで活性化を図る。				
H28	実績	地方創生推進交付金の実施計画を申請し、策定した。			
	評価	事業実施体制を整えることができた。			
H29	取組	アイデアの全国公募、マッチングシステム構築、体験プログラムシステム構築、試行国の地方創生推進交付金を平成29～31年度まで活用し、目的の達成を図る。			

イ 用途地域の見直し

		方針	継続	番号	2202
事業名	暫定用途地域(30/50)見直し事業	担当部	建設産業部		
		担当課	都市計画課		
事業概要		用途地域の第1種低層住居専用地域(暫定用途地域)の解消に向けて、良好でゆとりある居住環境等を目指すため、地区内住民等と協議を行い地区計画を策定し、必要な公共施設(道路・公園)の整備を行いつつ適正な土地の有効活用を促進する。			
H28	実績	【神守中町地区】公園用地鑑定評価、公園基本設計等、地区計画として必要とする施設整備のうち、公園整備事業の施行に着手した。			
	評価	計画通り実施することができた。今後は、財源として国の交付金を活用して計画通り整備できるよう進める。			
H29 取組		地区計画は、最も身近な都市計画の手法の一つであり、策定は県及び土地所有者の意見を求めて作成する。 【神守中町地区】 第2公園用地取得、公園詳細設計 【神守下町地区】 関係機関協議、都市計画手続 等			

【施策3】 企業と若者との接点の強化

i) 施策の方針



ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成28年度の実績値の割合、前年度比については、前年度(平成27年度)の数値と比較したものです。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	達成度	前年度比
関係機関と連携した企業説明会の開催数(回)	目標値	2	計画	1	1	0.0%	●
	基準値	1	実績	0	0		

iii) 主要な施策

ア 企業情報の提供

		方針	継続	番号	2301
事業名	企業情報の提供	担当部	建設産業部		
		担当課	産業振興課		
事業概要	市内企業のPRを行い、若者等に就職情報等を提供することで、転出抑制を図る。				
H28	実績	市内企業を訪問し、雇用要望等の情報を収集し、工業高校やハローワーク等を紹介した。			
	評価	未訪問の市内企業からも聞き取り、事業進捗を図る必要がある。			
H29 取組	未訪問の市内企業及び誘致企業から雇用の聞き取りを行い、市内の若者の転出抑制を図る。				

基本目標3 人の交流・活動を活発にし、都市イメージを改善する

定住人口、交流人口の増加をもたらし、さらに都市イメージが高まるといった好循環を実現する。

I 目標指標

基本目標に掲げる指標は下記のとおりです。

目標指標名	目標値(平成31年度)	基準値(平成27年度)
市民で津島市に魅力を感じている人の割合(%)	32.0	24.0

II 各方針の状況

【施策1】若い人の活躍機会の拡充と発信

i) 施策の方針

津島市に対する市内外の若者・女性の
関心を高める



- ・若者・女性が地域の中で活躍する機会の拡充
- ・若者・女性同士の交流の促進
- ・新たなビジネスチャンスにチャレンジしようとする若者・女性の起業の支援
- ・若者や女性の姿や声の紹介

ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成28年度の実績値の割合、前年度比については、前年度(平成27年度)の数値と比較したものです。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

		27年度末	28年度末	29年度末	達成度	前年度比
つしままちづくり提案事業 実施件数(件)	目標値		15	15	53.3%	
	基準値		8			
	計画		15	15		
	実績	19	8			

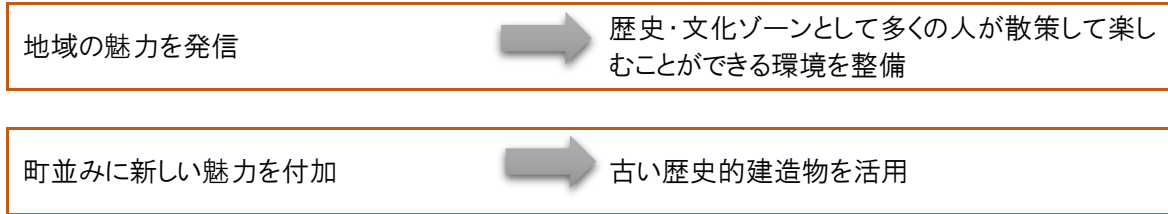
iii) 主要な施策

ア 夢まちづくり事業

		方針	継続	番号	3101
事業名	市民活動団体人材育成講座	担当部	市民生活部		
		担当課	市民協働課		
事業概要	市民活動団体が企画・運営する市民活動団体等の活動や交流をサポートする市民向けの講座等の開催を支援する。				
H28	実績	市民活動団体が企画・運営する講座の開催を支援した。			
	評価	市民活動団体が活動する場を提供し、活動を支援することができた。			
H29	取組	市民活動団体が企画・運営・開催する講座を支援する。			

【施策2】 歴史・文化を活かしたまちづくり

i) 施策の方針



ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成28年度の実績値の割合、前年度比については、前年度(平成27年度)の数値と比較したものです。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

		27年度末	28年度末	29年度末	達成度	前年度比
町家・山車蔵等の修景費助成件数(件)	目標値	10		2	0.0%	
	基準値	-				
堀田家住宅観覧者数(人)	目標値	5,000	5,000	5,000	116.5%	
	基準値	4,150	5,827			

iii) 主要な施策

ア 歴史・文化のまちづくり事業

		方針	継続	番号	3201
事業名	歴史・文化のまちづくり推進		担当部	市長公室	
			担当課	シティプロモーション課	
事業概要	津島駅西地域の歴史・文化ゾーンにおいて、小路整備事業、町家・山車蔵等の修景費補助事業、ポケットパークや案内板整備事業等歴史・文化を活かしたまちづくりを進める。				
H28	実績	まちづくりニュースを発行した。町家・山車蔵修景費及び空き家・空き店舗利活用費補助要綱の検討、案内板配置・デザイン計画及びポケットパーク整備内容を担当課と協力して作成した。			
	評価	計画通り実施することができた。			
H29 取組	まちづくりニュースを発行する。 平成31年度までの5か年の社会資本総合整備計画(都市再生整備計画事業)を推進していく。				

		方針	継続	番号	3201
事業名	高質空間形成施設整備事業		担当部	建設産業部	
			担当課	都市整備課	
事業概要	歴史・文化ゾーンにおいて、本町筋及び散策ルート周辺の小路のカラー舗装・側溝整備等を行い、歴史的建造物の周辺環境の整備を図る。また、散策ルート周辺に散策者が休憩できるスペースを整備する。				
H28	実績	小路整備等の詳細設計、小路整備延長 319.1m、ポケットパーク整備予定箇所決定、用地交渉、測量 小路整備18路線の内11路線完了した。 ポケットパーク整備箇所として、2箇所を決定し、地権者と覚書を締結した。			
	評価	計画通り実施することができた。			
H29 取組	平成30年度完了できるよう事業調整を行う。 本町筋整備 延長 474.7m、小路整備 延長 0m、ポケットパーク工事(2箇所)				

		方針	継続	番号	3201
事業名	山車蔵等修景・復元費助成事業	担当部	教育委員会		
		担当課	社会教育課		
事業概要		山車蔵等基本デザインに則した山車蔵の修景や建て替えに係る費用の一部を補助する。			
H28	実績	新たな補助制度として、山車蔵修景整備事業補助金交付要綱をまとめた。			
	評価	申請に必要な書類等の条件を明示した補助要綱に基づいた適切な補助体制の整備をすることができた。			
H29 取組		山車蔵の建て替え1件、一部改修2件を補助する。時限的な補助事業であり、一つでも多くの山車蔵の機能が向上できるよう積極的な事業実施を山車保存会に促す。			

イ 堀田家住宅等の保存・活用

		方針	継続	番号	3202
事業名	堀田家住宅及び氷室作大夫家住居の管理運営及び整理	担当部	教育委員会		
		担当課	社会教育課		
事業概要		重要文化財である堀田家住宅及び市指定文化財の氷室作太夫家住居の適切な管理・運営を進める。南海トラフ地震発生リスクの高まりを見据えた施設の耐震化、多様な企画展等の開催を通じて観覧促進を図る。			
H28	実績	堀田家住宅茶室壁、雨水埋設管洗浄実施。JAZZ ライブや近代アート展を実施した。			
	評価	堀田家住宅での事業の幅が広がり、新規・リピーター観覧者の獲得に向けた可能性が広がった。			
H29 取組		多様な文化イベント、企画展を行いながら観覧者数を伸ばすとともに、庁内外での文化財保護に向けた機運の醸成と何より必要な職員の配置を求めていく。			

【施策3】 シティプロモーションの展開



i) 施策の方針

若い女性の流出の抑制及び若い世代の移入の促進 → 都市のイメージアップ

地域資源の新たな魅力の創造 → 地域の資源を生かしたグッズ開発等、地域ブランド商品の開発

ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成28年度の実績値の割合、前年度比については、前年度(平成27年度)の数値と比較したものです。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	達成度	前年度比
津島市公式 HP アクセス数(件)	目標値	547,500	計画	450,000	510,000	89.8%	
	基準値	263,066	実績	417,299	491,533		
転入者数(20~39歳)(H27~31年度の平均)(人)	目標値	1,350	計画			83.8%	
	基準値	1,100	実績	1,222	1,132		

iii) 主要な施策

ア シティプロモーションの推進

		方針	継続	番号	3301
事業名	シティプロモーションの推進		担当部	市長公室	
			担当課	シティプロモーション課	
事業概要	津島市の魅力を創造し、それを地域のイメージとしてブランド化させ、市内・市外へと発信する様々な取組を推進する。				
H28	実績	先進自治体視察 タウンミーティングの支援、ふるさと応援寄附金に対する尾張津島天王祭への招待事業、PVの制作、統一デザイン名刺の製作、缶バッジ作成・配布			
	評価	本市の魅力を市内外に発信する機会を増やすことができた。			
H29 取組	シティプロモーション基本方針(案)の作成、YouTubeの活用、缶バッジの作成・配布などを実施する。				

イ 地域資源の情報発信

		方針	拡大	番号	3302
事業名	にぎわい創出プロジェクト事業	担当部	市長公室		
		担当課	シティプロモーション課・産業振興課		
事業概要		まちの魅力の掘り起しや磨き上げを行い、それらを津島 OSHI となった地域住民等が効果的に情報発信することにより、まちのイメージアップを図り、まちににぎわいを創出し、人口流出に歯止めをかけ、移住・定住人口の増加に寄与する。			
H28	実績	情報交流システムの構築・マップ策定・小路めぐりお試し体験・津島 OSHI 及びステーションの募集・登録・短編小説・写真コンテスト(春の部)・コンシェルジュ育成講座開催			
	評価	小路めぐりマップの作成や写真・短編小説コンテストによりまちの魅力の再発見し、発信することができた。			
H29 取組		情報交流システム「にぎわいネット津島」の管理、津島 OSHI 及びステーションの募集・登録、短編小説コンテスト、コンシェルジュ育成講座を継続する。また、新たにまち歩きツアー(有料のモニターツアー)、リアルご当地検定、映像づくりワークショップ実施する。			

		方針	継続	番号	3302
事業名	滞在型観光による地域再生プロジェクト事業	担当部	市長公室		
		担当課	シティプロモーション課		
事業概要		市内に宿泊施設を確保し、滞在時間を延ばすことにより、人の流れを生み出し、まちの雇用、にぎわいを創出する。また、宿泊者に対して宿泊のサポートを行う滞在型サポートサービスの組織化を図り、滞在機能を高める。			
H28	実績	宿泊利用施設の一部改修、モニター募集、1次モニター調査を実施。寺院を対象としたアンケート調査を実施。			
	評価	53名88泊(日本人26名33泊、外国人7か国27名55泊)、意見徴収した。寺院にどのような体験プログラムを実施可能かを調査できた。			
H29 取組		2次モニタリング事業、滞在サポートサービスの組織化、滞在施設の改修、外国人向けの多言語対応のホームページやパンフレット等の製作			

基本目標4 時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る

災害から市民の生命と財産を守ることができる安全なまちづくり、高齢になっても健康で安心して暮らすことができる環境づくり、市民と行政が協働して健康で安心な暮らしができる都市の実現を進める。

I 目標指標

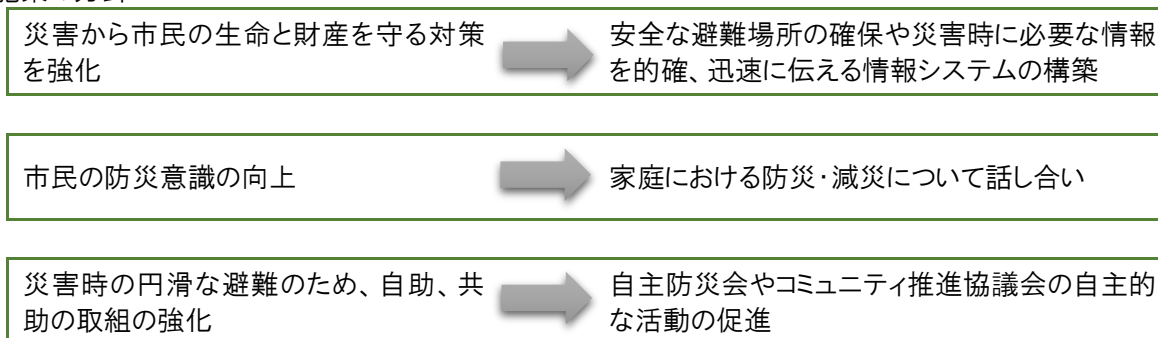
基本目標に掲げる指標は下記のとおりです。

目標指標名	目標値(平成31年度)	基準値(平成27年度)
地域の医療体制に満足している人の割合(%)	70.0	43.5
住みやすいと感じている人の割合(%)	66.4	45.9

II 各方針の状況

【施策1】 防災・減災対策の充実

i) 施策の方針



ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成28年度の実績値の割合、前年度比については、前年度(平成27年度)の数値と比較したものです。

			27年度末	28年度末	29年度末	達成度	前年度比
防災訓練参加者の割合(%)	目標値	20.0	計画	8.0	10.0	33.2%	↓
	基準値	6.1	実績	6.9	6.63		
災害時の民間協力一時避難所に関する協定締結件数(件)	目標値	40	計画	27	31	60.0%	↑
	基準値	20	実績	23	24		

iii) 主要な施策

ア 自主防災活動の推進

		方針	継続	番号	4103
事業名	自主防災活動推進事業	担当部	市長公室		
		担当課	危機管理課		
事業概要	各小学校区自主防災会を、より強固な組織とするために町内単位の自主防災組織の設置を推進し、地域住民相互の助け合いによる防災活動を支援する。				
H28	実績	町内単位の自主防災組織の設置を推進し、防災活動を支援した。			
	評価	町内単位の自主防災組織の設置を推進した。増加に向けては、設置に対する地域の理解を進めることが必要。			
H29 取組	町内単位の自主防災組織の設置を推進し、防災活動を支援していく。				

イ 災害協定の推進

		方針	継続	番号	4102
事業名	災害時協定推進事業	担当部	市長公室		
		担当課	危機管理課		
事業概要	災害時における各種応援や、一時避難場所の確保に向け、民間事業所等との協定締結を推進する。				
H28	実績	事業所訪問、協定締結に係る各種情報収集。			
	評価	事業所訪問については、予定通り実施することができたものの、協定の締結は1社にとどまった。			
H29 取組	事業所訪問、協定締結に係る各種情報収集をし、一つでも多くの協定を締結し、地域の防災力の向上を図る。				

【施策2】 健康寿命の延伸

i) 施策の方針

住み慣れた地域でいきいきと暮らす



保健・福祉・医療体制の充実、健康寿命の延伸、社会保障費の抑制等を図り、高齢者を地域で支える仕組みづくりを進める

ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成28年度の実績値の割合、前年度比については、前年度(平成27年度)の数値と比較したものです。

			27年度末	28年度末	29年度末	達成度	前年度比
国民健康保険加入者の特定健康診査受診率(%)	目標値	60.0		40.1	40.0	65.0%	
	基準値	39.0					
健康づくりに関するボランティア会員数(人)	目標値	240		160	180	66.7%	
	基準値	121					
計画							
実績			38.1	39.0			
計画							
実績			151	160			

iii) 主要な施策

ア 生活習慣病予防の推進

		方針	継続	番号	4202
事業名	第2期健康日本21津島市計画の推進		担当部	健康福祉部	
			担当課	健康推進課	
事業概要	「世代をこえて 笑顔で 健幸 つながる つしま」を目指すため、平成28年度から10年間で期間とする「健康日本21津島市計画」を推進するためのワーキングで、具体的な施策を展開する。				
H28	実績	記念講演の実施及びクリアファイルを作成し、周知・啓発を図った。重点課題の目標達成のため、月に1回のワーキングを行い、健康づくり活動の推進を行った。			
	評価	計画通り実施することができた。			
H29 取組	計画に基づく施策の実施。重点課題の短期目標達成のため、関係機関等と連携し、健康づくり活動の推進を行う。				

		方針	継続	番号	4202
事業名	特定健康診査事業		担当部	健康福祉部	
			担当課	保険年金課	
事業概要	メタボリックシンドロームに着目した健康診査(特定健診)を行い、対象者の人に保健指導(特定保健指導)を実施する。				
H28	実績	対象者に特定健診(特定保健指導)の受診券(利用券)を送付し、未受診者にハガキ・電話勧奨等により受診を促し、既受診者には受診の重要性を伝えた。			
	評価	特定健診の受診率は、前年度より増加。特定保健指導受診率は集計中だが、ちらしの工夫と、文書による再勧奨を行ったため、上昇する見込みである。			
H29 取組	対象者に特定健診(特定保健指導)の受診券(利用券)を送付し、未受診者にハガキ・電話勧奨等により受診を促し、既受診者には受診の重要性を伝える。				

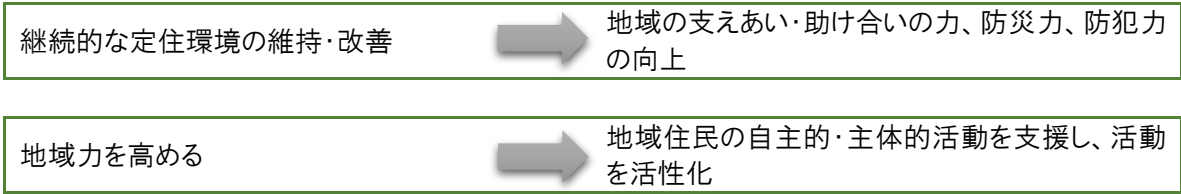
イ 市民の健康づくりの推進

		方針	継続	番号	4201
事業名		高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業		担当部	健康福祉部
				担当課	高齢介護課
事業概要		高齢者福祉計画・介護保険事業計画は3年ごとに策定することになっており、平成28年度は第7期事業計画策定に向けた実態調査を実施。平成29年度中に計画策定を行う。			
H28	実績	介護予防・日常生活圏ニーズ調査及び在宅介護実態調査の実施			
	評価	計画通り実施することができた。			
H29 取組		第7期事業計画の策定。策定した第7期事業計画の周知を図る			

		方針	継続	番号	4201
事業名		健康マイレージ推進事業		担当部	健康福祉部
				担当課	健康推進課
事業概要		健康づくりに関する取組を継続することで、マイレージ(ポイント)を獲得することができ、一定以上のマイレージを貯めた人に、県内の協力店で特典を受けられる優待カード「MyCa(マイカ)」を交付するもの。			
H28	実績	健康マイレージの達成者数357人(平成27年度37人) 協会けんぽと共同企画による企業のWチャレンジ宣言では、健康への取組として健康マイレージを盛り込んだ。			
	評価	目標を達成するために工夫して取り組み、健康マイレージ登録者を大幅に増やすことに成功した。			
H29 取組		各関係機関や事業と共同し、マイレージの周知啓発活動を進める。			

【施策3】 自治活動・市民活動の活性化

i) 施策の方針



ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成28年度の実績値の割合、前年度比については、前年度(平成27年度)の数値と比較したものです。

		27年度末	28年度末	29年度末	達成度	前年度比
津島市市民活動団体登録数 (団体)	目標値		120	130	73.3%	
	基準値	56	110			
	計画					
	実績					

iii) 主要な施策

ア 夢まちづくりセンター開設・運営

		方針	継続	番号	4301
事業名	夢まちづくりセンター開設・運営		担当部	市民生活部	
			担当課	市民協働課	
事業概要	市民活動の拠点施設となる市民活動センター(つしま夢まちづくりセンター)の運営を行う。今後の運営については、他へ運営委託を検討していく。				
H28	実績 評価	市民活動の拠点施設となる市民活動センター(つしま夢まちづくりセンター)を運営した。計画通り実施することができた。			
H29	取組	活動に役立つ情報の収集・発信や各種相談、市民活動団体交流会の開催、コピー機・印刷機等の機器類貸出などを行い市民活動の支援をする。			

地方創生推進交付金等活用事業について(平成29年度採択分)

01 伝統の食と農でつなぐ人と地域にやさしいまちづくり

平成29年度事業費 40,500千円 交付予定額 20,250千円

		方針	継続	番号	5101
事業名	伝統の食と農でつなぐ人と地域にやさしいまちづくり		担当部	建設産業部	
			担当課	産業振興課	
事業概要	地元や伝統の食材に関するセミナーを開催し、食への関心から農への関心につなげ、農業で人と人をつなぐ農場「農縁」を開設。その他、農縁で生産される伝統野菜等の農作物の加工販売を目指す。				
H28	実績	スタディーツアー開催、食のセミナー開催、農業塾の開設、キックオフイベント開催、各種調査実施、分析、事例調査			
	評価	各イベントで多くの参加者が集まり、市民の食と農に対する関心を深められた。			
H29 取組	食のセミナー開催、農業塾の運営、パイロット事業の検討、商品化に向けたメニュー開発生産基盤整備、加工販売に向けた整備等、市街化区域での農業塾実施のため、生産基盤整備等を行う。				

02 寺院と町家を活用した滞在型観光による地域再生プロジェクト

平成29年度事業費 32,500千円 交付予定額 16,250千円

		方針	継続	番号	3302
事業名	滞在型観光による地域再生プロジェクト事業(再掲)		担当部	市長公室	
			担当課	シティプロモーション課	
事業概要	市内に宿泊施設を確保し、滞在時間を延ばすことにより、人の流れを生み出し、まちの雇用、にぎわいを創出する。また、宿泊者に対して宿泊のサポートを行う滞在型サポートサービスの組織化を図り、滞在機能を高める。				
H28	実績	宿泊利用施設の一部改修、モニター募集、1次モニター調査を実施。寺院を対象としたアンケート調査を実施。			
	評価	53名88泊(日本人26名33泊、外国人7か国27名55泊)、意見徴収した。寺院にどのような体験プログラムを実施可能かを調査できた。			
H29 取組	2次モニタリング事業、滞在サポートサービスの組織化、滞在施設の改修、外国人向けの多言語対応のホームページやパンフレット等の製作				

03 みんなで支えあうコミュニティリノベーション事業

平成29年度事業費 26,500千円 交付予定額 13,250千円

		方針	拡大	番号	5103
事業名	コミュニティリノベーション事業	担当部	市民生活部		
		担当課	市民協働課		
事業概要		空き家等を有効に活用し、地域の多様な世代が集まる交流の場を生み出し、全ての世代が相互に助け合いながら活躍できるまちを目指し、にぎわいを創出する。			
H28	実績	事例調査及び市民ニーズ把握のためのアンケートを実施。			
	評価	事例及び市民ニーズの把握を行った。			
H29 取組		活用する空き家を選定し縁側カフェモデルの整備及び運営を行うとともに、多世代における主体形成のためのワークショップ及び担い手育成等を実施する。			

04 みんなで発見・発信・おもてなし！津島“にぎわい”創出プロジェクト

平成29年度事業費 16,000千円 交付予定額 8,000千円

		方針	拡大	番号	3302
事業名	にぎわい創出プロジェクト事業(再掲)	担当部	市長公室		
		担当課	シティプロモーション課・産業振興課		
事業概要		まちの魅力の掘り起しや磨き上げを行い、それらを津島 OSHI となった地域住民等が効果的に情報発信することにより、まちのイメージアップを図り、まちのにぎわいを創出し、人口流出に歯止めをかけ、移住・定住人口の増加に寄与する。			
H28	実績	情報交流システムの構築、マップ策定、小路めぐりお試し体験の実施、津島 OSHI 及びステーションの募集・登録、短編小説・写真コンテスト(春の部)、コンシェルジュ育成講座開催			
	評価	小路めぐりマップの作成や写真・短編小説コンテストによりまちの魅力の再発見し、発信することができた。			
H29 取組		情報交流システム「にぎわいネット津島」の管理、津島 OSHI 及びステーションの募集・登録、短編小説コンテスト、コンシェルジュ育成講座を継続する。また、新たにまち歩きツアー(有料のモニターツアー)、リアルご当地検定、映像づくりワークショップ実施する。			

05 天王信仰の総本社「津島神社」への参道を核とした門前町再生事業

平成29年度事業費 10,000千円 交付予定額 5,000千円

		方針	継続	番号	2106
事業名	商店街空き店舗対策(天王信仰の総本社「津島神社」への参道を核とした門前町再生事業)(再掲)	担当部	建設産業部		
		担当課	産業振興課		
事業概要		天王通りのまちづくりを行うため、アイデアの募集、ワークショップでの検討等、具現化に向けた取組を行う。また、消費につながる仕組みを創出するため、出店者が活用する空き店舗マッチングシステムを構築、運用し、店舗で、体験プログラムを実施できるシステムを構築、運用することで活性化を図る。			
H28	実績	地方創生推進交付金の実施計画を申請した			
	評価	地方創生推進交付金の実施計画を策定した			
H29 取組		アイデアの全国公募、マッチングシステム構築、体験プログラムシステム構築、試行国の地方創生推進交付金を平成29～31年度まで活用し、目的の達成を図る。			